

一期一会～みんなでつくろう笑顔あふれる西宮

10/26 (土) にしのみや市民祭り

10月26日(土)に市役所本庁舎周辺で開催する「にしのみや市民祭り」の出演団体・ボランティア等を募集しています。ぜひお申し込みください。

募集 一緒に盛り上げよう！ 出演団体・ボランティア・協賛企業

Table with 4 columns: 募集イベント等, 内容, 主な対象, 締切. Rows include パフォーマンス in 西宮, 西宮ミュージックライブ, Dancing☆甲子園☆, 市民ボランティア, 企業・団体ボランティア, 協賛企業・団体.

●募集要項を確認の上、申込書の提出を

配布場所 地域コミュニティ推進課(市役所本庁舎7階) 各支所・市民サービスセンター アクタ西宮ステーション

HPからも入手可



にしのみや市民祭り協議会事務局 (0798・35・3458...地域コミュニティ推進課内)

6月23日～29日は「男女共同参画週間」

市は、「誰もが性別にとらわれることなく、互いに尊重し合い、一人ひとりの力を活かすことができる社会の実現」を目指し、男女共同参画施策に取り組んでいます。



性別にかかわらず、多様な選択を実現できる社会を実現するため、男女のパートナーシップについて考えてみませんか？ 6月は、市役所本庁舎1階南西展示コーナーで、パネル展示を行っています。



男女共同参画センター ウェーブの主な事業

Table with 2 columns: 事業, 内容. Rows include ウェーブの講座, 女性のための相談室, 図書・DVDの貸出, 学校や企業への出前講座.

※各事業の詳細は市のホームページで確認を

ウェブ (0798・64・9495) HP 24991199

学生の意見、アイデアをまちづくりに！

高校生 大学生 『新しい図書館』に若者世代のコーナーを GO-DO-PROJECT

阪神西宮駅北側に移転整備を計画している市立中央図書館に、若い世代の居場所となるコーナーを整備するため、夏休みにワークショップを開催します。高校・大学生の皆さんのアイデアで、より良い居場所づくりにチャレンジしてみませんか？



日時 8月2・9・23日。いずれも金曜午後 ※会場など詳細は市HPで確認を

内容 交流・フィールドワーク・調査・協議・発表 コーナーの活用方法の検討、図書館を通じた地域づくりを考える



対象 高校・大学生(在学者可)

定員 16人。多数の場合抽選 申込 6月10日～7月12日に市HP

生涯学習企画課 (0798・35・3869) HP 47648229

高校生 まちづくりを市に提案！ Youth 委員会



市内在住・在学歴のある高校生で組織する「Youth委員会」は、自ら企画・提案したいテーマについて、定期的に調査・研究・協議などの活動を行い、委員会でまとめた意見や取組を市に提案します。興味のある人は、ぜひご参加ください。活動期間は7月下旬から来年2月。詳細は市のホームページでご確認ください。



第1回ミーティングを開催

日時・場所 7月23日(火)午前10時から教育委員会神祇官分室

申込 7月21日までに市HP

青少年施策推進課 (0798・31・5428) HP 85222680

6月は「食育月間」

今日の食べもの 明日の健康

毎日欠かすことのできない「食」。健康で生き生きと楽しく過ごすために「食べること」について考えてみませんか？食生活を振り返り、できることから取り組みましょう！市のホームページでライフステージ別の取組を紹介しています。ぜひ、ご覧ください。



こんなことも食育！

- 主食・主菜・副菜のバランスを意識する
毎日朝食をしっかりと食べる
旬の食材や地域の食べ物を選ぶ
食品表示をよく見て選ぶ
自然の恵みや食事を作った人たちへの感謝の気持ちをもつ
家族と一緒に楽しく食べる
ゆっくりよくかんで味わう
食事の前には手洗い・消毒

健康増進課 (0798・26・3667) HP 79569999

西宮のまちを守って いきたいと思ひます。



▲仁川の川底をくぐった先の出口部分の様子(百間樋児童遊園南側)

約450年前、武庫川の水を段上・上大市・下大市・門戸・高木の五ヶ村に引くために「百間樋」と呼ばれるかんがい施設が作られました。そのかんがい路は天井川である仁川の川底をくぐらせ、百間(約180m)ほど掘り抜いたものです。重機もない時代に、人力で成し遂げる当時の人たちの技術力、行動力に感服するばかりです。この百間樋を含めた水路は、五ヶ村を中心として結成された組織、井組によって今も維持管理が続けられています。毎年初夏に戸開式が行われ、市内の水田に水を送り出し、地域の農業を支えています。また、昭和39年から平成23年までは、本市上下水道局もこの百間樋から取水し、水道水として使用していました。

現代では、ありがたいことに蛇口をひねれば好きなだけ水を使うことができますが、つい数世代前までは濁水や洪水に悩まされ、水を巡る争いも多かったと伝えられています。そうした先人の苦勞と数百年にもわたるこの百間樋の歴史から、私たち人間や多くの生き物が恩恵を受けてきたことに深い感銘を覚えます。こうした貴重な歴史を知り、守り、受け継ぐことを通じて、潤いある西宮のまちを守って

花卯木 かむさるよろに 百間樋 西宮市長石井登志郎

